

7. ボランティアリーダー育成事業

ボランティア・NPO 活動センターでは、本学の学生を対象にボランティアに関する各種講座を実施しています。入門編として、ボランティアについての基礎的な講義とボランティア体験を行う「ボランティア入門講座」、応用編として、センターを運営する学生スタッフや既にボランティア活動を行っている学生を対象に、スキルアップや組織運営の向上を目指した「ボランティアリーダー養成講座」を開催しています。

事業名	ボランティア入門講座	
	深草キャンパス日時／参加人数	瀬田キャンパス日時／参加人数
第1回	2017年5月18日(木) 17時30分～19時30分／39名	2017年5月19日(金) 17時30分～19時30分／41名
第2回	2017年5月27日～6月11日の土、日に計7ヶ所(4日間)で体験を実施／参加者86名、引率25名	
第3回	2017年6月15日(木) 17時30分～19時30分／41名	2017年6月16日(金) 17時30分～19時30分／33名
実施主体	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター	

1. 経緯・目的

学生が何か新しいことを始めたいと感じる年度初めに、毎年本講座を実施しています。ボランティアに関心はあるが、活動未経験や活動経験が少ない本学学生と、今年度新たに登録したセンター学生スタッフを参加対象とし、その後のボランティア活動に繋がるきっかけとなることを目指しています。

2. 概要

全3回の講座で、第1回目ではボランティアの基礎的な考え方について講義形式で学び、第2回目に地域の団体で実際にボランティア活動を体験します。第3回目はセンターの学生スタッフがリーダーとなってそれぞれの体験をふりかえるグループワークを行います。最後にセンターで現在紹介しているボランティアを紹介して今後の活動につなげます。

(1) 第1回「ボランティアって何だろう」

○講師／内容(両キャンパスとも)：南 多恵子氏
(京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科 社会福祉士養成コース講師)



- ・ボランティア活動の意味
 - ・ボランティア活動の魅力、心構え
 - ・ボランティア活動のときに役立つコミュニケーションの基本
 - ・学生同士の絆をもっと深める
- をねらいとしてお話をいただきました。

ボランティアの多様性や、ボランティアに行く場合の心得に参加者は熱心に耳を傾けていました。人は見た目が大事だという話、「実際に笑顔の練習をしてみよう!」は強く印象に残りました。

(2) 第2回 ボランティア体験プログラム

7ヶ所(4日間)に分かれてボランティア体験
①5月27日(土)

分野：子ども

場所：京都市梅小路公園 芝生広場、すざくゆめ広場梅小路プレイパーク

内容：子どもたちと一緒に思いっきり遊ぶ
受入団体：公益財団法人京都市都市緑化協会



②5月27日(土)

分野：環境

場所：膳所城跡公園

内 容：外来水生植物オオバナミズキンバイ
除去作業

受入団体：滋賀県自然環境保全課



③5月27日（土）

分 野：障害・スポーツ

場 所：近江八幡市 運動公園体育館

内 容：卓球・バスケットボール・バドミントンの地区大会での運営補助

受入団体：スペシャルオリンピックス日本・滋賀

④5月28日（日）

分 野：多世代交流・まちづくり

場 所：草津市立なごみの郷

内 容：なごみの郷ファミリーデー753(なごみ)のイベントのお手伝い

受入団体：草津市コミュニティ事業団 なごみの郷



⑤6月10日（土）

分 野：環境・まちづくり

場 所：京都市伏見区深草地域の竹林

内 容：農道のごみ拾い、放置竹林整備

受入団体：NPO 法人京都・深草ふれあい隊 竹と緑



⑥6月11日（日）

分 野：まちづくり

場 所：伏見いきいき市民活動センター

内 容：ガーデンリノベーション

受入団体：伏見いきいき市民活動センター



⑦6月11日（日）

分 野：子ども・障害

場 所：京都市障害者スポーツセンター

内 容：障害のある子どもたちとの遊びやかかわり

受入団体：タンタンおもちゃライブラリー

(3) 第3回ふりかえり

7ヶ所での様々な体験を、映像を順次見ながら全員が発表し、グループでじっくり共有しました。

「ボランティアをひとことで表すと?」「ボランティアを友達に紹介する際のキャッチフレーズ」を考えるワークを行いました。

深草キャンパスでは、「一期一会」「出会い」「笑顔」「新しい発見」「感謝」「未知との遭遇」「成長」など。

瀬田キャンパスでは、「何かに困っている人を見ていてもたってもいられなくなる。ひとことと言うと、無償の愛!」「新しいつながりができるきっかけ～愛～」「人と人とのつながり」「主体的にかかわることで笑顔が生まれる場所」「ひとことでは言い表せないもの」「ふつうのこと」など。

キャンパスによって違ったフレーズが生まれたのは、興味深い結果でした。先輩学生スタッフたちのファシリテーション、場作りの違いかもしれません。

最後に、先輩たちからのオススメボランティア「私の一押し!」の紹介に、熱心に耳を傾けていました。

3. 参加者の声・成果など

(1) 第1回講座

・「ボランティアとは何か」について1から話を

- 聞くことができ、イメージをしっかりと持つことができた。初対面の人とのコミュニケーションを取るために笑顔を大切にしようと思った。
- ・有償のサービスには限界があり、その限界からもれ落ちている困りごとを解決することがボランティアへの先駆け性だと知れたから。「ボランティアは自分から始める活動」という言葉を聞いて、自分なりのボランティアを行う理由を探して行きたいと思ったから。
 - ・ボランティアは奉仕活動ではなく支え合うということなのだと感じました。ボランティア活動ではたくさんの人と協力して繋がりをつくりたいです。
 - ・ボランティア活動が「ほっておけない」の気持ちを行動に移すことが始まり、というのが一番納得できました。そして今若者が必要とされているということが分かったので、これから機会を見つけて様々な活動をしていきたいです。

(2) 第2回ボランティア体験プログラム

- ・森を管理されているのが高齢者の方がとても多く、実際に竹を切ったりしていて、こんなに大変な事をとても少ない人でやっていることに驚き、少しでも助けになれてよかった。
- ・ガーデニングした庭の今後の使い方を皆で意見を出し合ったりしたので、とても良い体験ができました。
- ・健常者と障がい者の間にある壁を感じなかった。自分から関わると、意外に心を開いてくれて、障がい者理解の一つの良い経験になった。
- ・体力的に厳しいと感じることはありましたが、琵琶湖の生態系の問題を知ることができ、県や市の職員さんの苦勞を知ることができて良かったです。繁殖を食い止める策を考えるプログラムがあったらいいと思います。

(3) 第3回ふりかえり



- ・自分が行ったボランティアの体験先だけでなく、他の人たちが行った場所を共有することができて、他のボランティアの体験先にも行ってみたいと思えました。
- ・1回目でボランティアについて勉強をし、2回目に実践し、実践したことを共有できる時間があったことがよかった。自分が行ったボランティア以外の話を数多く聞けて、学べたことも気付いたことも多くあった。

4. コーディネーター所感

第1回の講義では、ボランティアの基本、取り組む姿勢、意義の他に、人として大切なこと、人間関係で大事なこと、初対面の人と打ち解ける方法等を教えていただきました。「笑顔を忘れないで!」「ボランティアとはしてあげるではなく対等な関係であり支え合うということ」と南先生に教わり、第2回の体験に向かうことができました。

第2回の体験プログラムでは、センターの学生スタッフとコーディネーターが同行し、初めてボランティアをする学生とともに活動することで、安心して取り組めたと思います。7ヶ所で受け入れていただき、学生達は楽しみながらボランティアのやりがいや楽しみを体験することができました。

各団体の皆さんには、活動後の振り返りに同席いただき、忌憚のないご意見・ご感想をいただきました。学生たちが、安心・安全な環境の下で実施できありがたかったです。

第3回の振り返りは、体験先での体験を語り共有し、意見交換し、ボランティアとは何かを改めて考えることができました。先輩の学生スタッフがファシリテーターとして参加者に寄り添い、意見を引き出し、アドバイスしてくれました。みんなで振り返ることによって得られることも多いと実感します。

今後も引き続きボランティアに興味を持ち続け、実際にボランティアに行ってくれるとうれしいです。受講者の次の一歩に期待したいと思います。

〈報告者：古澤 登美代

(瀬田キャンパス コーディネーター)〉

事業名	第1回ボランティアリーダー養成講座 「グループ運営の秘訣～お互いにとってOKな活動にするには?～」
実施日	2017年8月8日(火) 13時30分～16時30分
場所	深草キャンパス 22号館205教室
実施主体	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
参加人数	本学学生63名

1. 経緯・目的

ボランティア活動やサークル活動をする際に「どうグループを運営していくのか?」という壁にぶつかることがよくあります。

お互いにとって気持ちの良いコミュニケーション(お互いにとってOKな関係を作る)を取った方が良いとは思いますが、具体的にはどうということ?という大きな課題に真正面から取り組み、より良いグループ運営を行いながら、活動をパワーアップしていくことを目標にリーダー養成講座を実施しました。

講師には、参加体験型学習、ワークショップによる学びのファシリテーター、講師として全国各地で活躍中の金香百合氏を招き、人間力・社会力・対話力を深めるためのワークショップを行いました。

2. 概要

(1) 講師: 金 香百合氏
(HEAL ホリスティック教育研究所)

(2) 内容

1) ワーク

自分自身の本日の感情などを自分に問いかけながら、席を移動していくワークショップをした後、グループに分かれて自己紹介を行い、シートを使いながら、自分のコミュニケーションの取り方を検証していくワークを実施した。

2) 講義

①金氏の実体験を交えながら、自尊感情についての説明。

・自尊感情は、わたしOK, あなたOKの気持ち

②コミュニケーションを取る際の「聞き上



手になろう」「感謝の言葉を忘れない」など、当たり前でいて、いい加減にしてしまいがちなことが、大切であること。

③自分自身も大切にすること。

・自分も上げてグループ運営に活かそう
・自分探しはしなくてよい、自分は作っていくもの。

3) 対象

龍谷大学の学生でボランティア活動を行っている学生(サークルでボランティア活動に関わっている学生含む)、教職員

3. 参加者の声・得られた効果など

・ありのままの自分を受け入れるということがどれだけ大切かわかった。

・自分を好きになるとポジティブになれると学んだ。

・コミュニケーションは話す力だと思っていたけど、聞く力のほうが大切とわかった。

・丁寧に挨拶してお礼をいうということがなかなかできていないことに改めて気づくことができた。

・エンパワーするために、援助者が必要という言葉が印象に残った。

・自分が好きということがいろんなところに影響を与えていることがわかった。今はあんまりできていないけれど、自分を好きになりたい。

4. コーディネーター所感

ボランティア活動などのチーム行動の際、学生にとっての大きな壁となるのは、仲間との関わり方ではないでしょうか。

最近の学生を見ていて、学生達は自分の気持ちを上手く伝えられない、仲間と深い議論が出来ない、良い意味でのケンカが出来ない等、様々な葛藤を抱えながらグループの中で過ごしているように見えます。「自分のことを大事にする」「他者も大事にする」当たり前のことのように見えて、実践するのが難しいこれらのことを真正面から向かい合って考えることの出来たこの時間はとても貴重な時間だったと思います。

〈報告者: 竹田 純子

(深草キャンパス コーディネーター)〉

事業名	第2回 ボランティアリーダー養成講座 「チームの段取り力を鍛える！～思いを形にし、実現させるための方法～」
実施日	2018年2月5日（月）13時30分～16時30分
場所	瀬田キャンパス 2号館多機能教室
実施主体	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
参加人数	本学学生40名、教職員2名 合計42名

1. 経緯・目的

ボランティア活動、サークル活動をしていく上で、やりたいことを実現するためにはタイムマネジメントが重要です。日頃から、企画を始めてみたものの締め切り感覚が希薄な学生や、プロジェクトの進行をうまくマネジメントできないという課題を持っている学生が多いのではと感じていました。今回の講座は、思いをカタチにしていく課程を可視化することで段取り力がつき、「企画って面白い」「こうすれば実現できるんだ」と気づいて、意欲を高めてくれるのではと企画しました。

2. 概要

1) 講師：三木 俊和氏（京都市伏見いきいき市民活動センター長、まちとしごと総合研究所長）

2) 内容：

(1) 講演：「段取り力を鍛える～仕事を可視化して適切に割り振るチカラ～」

(2) ワーク（分解とスケジューリングワーク）

- ①5名程度のグループに分かれる
- ②グループの中で進行役を1名決める
- ③予め決められたテーマの中からチームごとに選択
- ④タスク分解とスケジュールへの落とし込み
みまずは大まかに企画してみよう
・なぜそれをやるとよさそう？（Why）
・誰のためにやる？（for Whom）
・どうなって欲しい？（How far）
・何をどのように？（What & How）
・いつ？どこで？（When & Where）
- ⑤プロジェクトの細分化



⑥できたチームはガントチャート化

⑦共有

3) 対象：龍谷大学の学生でボランティア活動を行っている学生（サークルでボランティア活動に関わっている学生含む）、教職員



3. 参加者の声・得られた効果など

- ・段取り力は企画だけでなく人生のライフプランの作成にも活かせる大事な力だと感じました。
- ・勉強になりました。意欲が湧いてきました！
- ・実生活でも「細分化」して物事を考えようと感じました。
- ・リーダーが漠然と指示するのではなく、みんなで具体的に細分化したり、細かい担当を決めることで効率良くなるのだと気づきました。
- ・今まで悩んでいたことを可視化できて、来て良かったです。
- ・今後は締め切りまでに一番いいものを提出したいです。

4. コーディネーター所感

三木さんの講演は、自己紹介の時点で刺激がいっぱいでした。ワークでは、やるべきことを可視化することの大切さや、思いを形にすること、実現させることが重要だということ学びました。今後ミーティングの方法を見直し、段取り力を発揮して、さくさくと企画を進められるのではないかと期待しています。講座で学んだことをぜひ活かしてほしいと願っています。

〈報告者：古澤 登美代

（瀬田キャンパス コーディネーター）〉

事業名	ボランティアコーディネーション力3級検定 ～市民の社会参加を支える“チカラ”を身につけよう！～
実施日	2017年12月10日（日）直前研修ならびに検定試験
場所	深草キャンパス 2号館202教室
実施主体	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター／特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会
参加人数	学生28名、一般7名 合計35名

1. 経緯・目的

本学学生や地域で市民活動に取り組んでいる人々が、市民活動への理解を深め、実践的な取り組みの担い手として活動できる力をつけることを目的として、特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会が主催する「ボランティアコーディネーション力3級検定直前研修並びに検定試験」を共催実施しています。当初、9月17日（日）に実施予定でしたが、台風の影響で延期となりました。また、振替日に受検ができない方に関しては、日本ボランティアコーディネーター協会主催の12月3日の大阪会場での受検が可能となり、7名が受検しました。

2. 概要

(1) 直前研修

主催者挨拶およびオリエンテーション

【講義】ボランティアコーディネーション力検定

【講義】今、なぜ、ボランティアコーディネーション力なのか？

【講義】ボランティアの理解

【講義】ボランティアコーディネーションの理解

検定試験

(2) 受験資格【※年齢は問いません】

※①②③のいずれかに該当していること。

①これまでにボランティア活動の経験がある。

②これまでに地域社会、組織（施設・機関、NPO など）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある。

③ボランティアコーディネーションに関わる予定がある。

(3) 受験料

・本学学生:6,380円（受講料:無料、テキスト代:2,380円、検定料4,000円）



・その他、一般:11,700円（全て込みのセット価格）

(4) 講師 筒井のり子氏／龍谷大学 教授

1983年に関西学院大学大学院修士課程修了。大阪ボランティア協会に勤務し、市民活動団体の事務局を7年間担う。99年4月より龍谷大学勤務。地域福祉論、ボランティア・NPO論。NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会運営委員。著書に「ボランティアコーディネーション力～市民の社会参加を支えるチカラ」（共著2015年）等

3. 参加者の声

(1) 本学学生「センターで日常的にボランティアコーディネートをしています。経験的に自分なりに伝えていたボランティアについて、この講義では体系的に学ぶことができ、コーディネートをより自信を持つことができます。」「検定に合格するために勉強をする過程で、ボランティアの概念、ボランティアコーディネートについて学びました。コーディネートの機能は様々な社会課題を解決していくために必要なものであると感じました。今後検定での学びや得られた内容を活動の中で活かしていきたいと思います。」

(2) 一般参加者「ボランティアを学ぶという貴重な経験ができました。働いていても学び続けるということは大切なことだと講義を通して実感しています。」

4. コーディネーター所感

日頃、職場や地域でボランティアに関わっておられる一般の方と、センターでボランティアコーディネーションを行っている学生達が共に学ぶことができる貴重な機会です。広くボランティア、市民活動について学ぶことによって、これからの人生や活動により気付きを得ることができれば、という思いで実施しています。共に学びあい、共感する中で得るものがあります。ぜひ様々な分野の方に参加していただければと思っています。

〈報告者：上手 礼子

（深草キャンパス コーディネーター）